

日野病院からのお知らせ

6月から外来診療が一部変更となりました。



● 総合診療内科の変更（月曜日～木曜日に診察を行います）

【月曜日】 渡邊ありさ 医師（午前のみ）

【火曜日】 渡邊ありさ 医師（午後のみ）

【水曜日】 井上 和興 医師（午前のみ）

【木曜日】 大 学 医 師（午前・午後）

※午前の受付時間は、午前7時30分から午前11時30分までです。

午後の受付時間は、正午から午後4時までです。

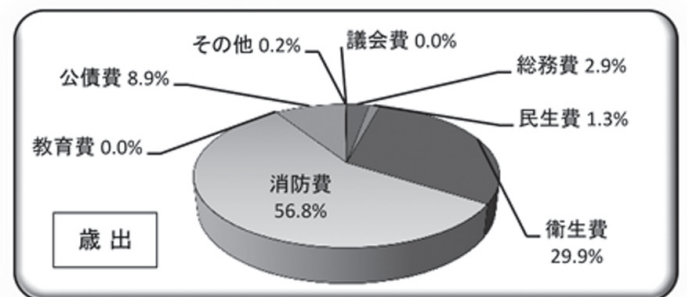
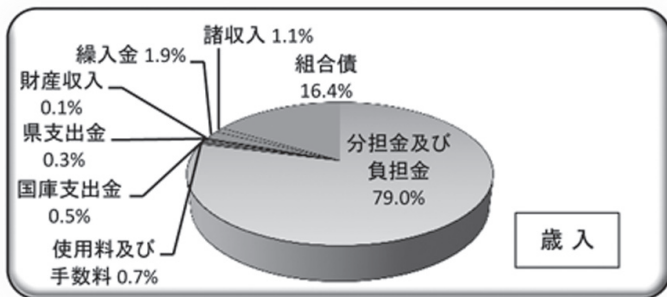
● 黒坂診療所診察医師の変更

【木曜日】 松波 馨士 医師 ⇒ 井上 和興 医師

鳥取県西部広域行政管理組合からのお知らせ

平成 26 年度鳥取県西部広域行政管理組合 当初予算の概要

2月組合議会定例会で、平成26年度当初予算が決まりました。今年度の一般会計予算額は67億8,862万3千円で、対前年度当初予算比で3.2%の増となっています。



歳入区分	予算額
分担金および負担金	53億 61,112万円
使用料および手数料	4,563万円
国庫支出金	3,659万円
県支出金	2,427万円
財産収入	340万円
繰入金	1億 2,819万円
諸収入	7,692万円
組合債	11億 1,250万円
合計	67億 8,862万円

うち共同処理事務に使う市町村負担金は53億2,467万円で、構成市町村別の内訳は次のとおりです。

米子市	28億 7,086万円
境港市	6億 8,513万円
日吉津村	1億 1,880万円
大山町	4億 9,769万円
南部町	3億 5,301万円
伯耆町	3億 6,132万円
日南町	1億 8,221万円
日野町	1億 3,162万円
江府町	1億 2,403万円

歳出区分	予算額
議会費	64万円
総務費	1億 9,401万円
民生費	9,132万円
衛生費	20億 2,994万円
消防費	38億 5,567万円
教育費	31万円
公債費	6億 672万円
その他	1,000万円
合計	67億 8,862万円

※表中の予算額は万円単位で四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

鳥取県西部広域行政管理組合事務局総務課（電話 0859-22-7722）

農業委員会だより No.47



日野町農業委員会

TEL 72-2103

FAX 72-1484

■違反転用はダメ！（必ず農業委員会に相談を）

農地を農地以外の目的で利用する場合は許可が必要です。（食料供給の基盤である優良農地を確保するため）

許可を受けずに転用した場合は違反転用となり、原状回復命令に従わない場合は罰則の適用を受けることになります。

転用だけでなく、農地の現状を変えようとする場合は事前に農業委員会にご相談ください。（日常的に農業委員が担当区域を巡回しています）

■昨今の農政について（食の安全は？）

長年続いた米の生産調整や経営所得安定対策制度の見直し、日本型直接支払制度の導入やTPP問題、農業委員会、農協組織のあり方など、この1～2年の間で農業を取り巻く環境が目まぐるしく変わってきています。

世界的な規模で日本（日野町）の農業を見たとき、広大な国土を持った国で大規模農業を営む農家と、限られた狭い国土で細々と農業を営む農家ではどちらが有利か言うまでもありません。

農業を経済的な観点だけでとらえるなら、安い農産物を外国から輸入して食料をそれで賄い、自動車などの工業製品を輸出し経済を潤すといった政策も間違いではないのかもしれませんが。

TPP問題についても、農業や畜産業が大打撃を受けるといって問題となっていますが、もう一つ重要な問題が語られていない気がします。

それは「食の安全」です。安く食料が提供されることは誰もが喜ばしいことですが、それは本当に安全なものなのでしょうか？

牛肉を例にとってみても、輸入肉は国産のものとは比べ物にならないくらい安い値段で店頭に並んでいます。肉を赤く見せるためや日持ちさせるための加工処理がどのように行われているか、どういった飼料で育てられたのかなど、私たち消費者はほとんど知るこ

とができません。

輸入の際の検疫検査などで安全は保たれているという人もいるかもしれませんが、輸入相手国の圧力によってその安全基準も緩和されようとしています。

現在進められている農業施策の改革が本場に農家や消費者の立場に立って行われているか十分注意して見守っていくとともに、小規模兼業農家が多くを占める本町の農業を継続するためには何が早急に対策を講じる必要があると思います。



わが町の実状に沿った農業施策が望まれる

皆様のご意見を農業委員会にお聞かせください。お待ちしております。